

水巻町は、古くから稲作発祥の地、炭鉱の町として栄えました。西は遠賀川が流れ、東は北九州市に隣接しており、北九州市のベッドタウンとして発展しています。

町の面積は 11.01 km<sup>2</sup>で県内市町村では 4 番目に小さな面積です。ちなみに羽田空港の面積が 15.16 km<sup>2</sup>なので、羽田空港より一回りくらい小さいコンパクトな町です。しかし、コンパクトな町ならではの、他の町にはない「住みやすさ」の魅力がたくさんあります。

まず、交通機関が非常に充実しており、JR 鹿児島本線と筑豊本線の 2 つの駅に加え、町の中央を国道 3 号が横切っています。東へ行けば北九州市へ、西へ向かえば福岡市へ、都市へのアクセスも最短 30～50 分と良好です。

町内においては、ディスカウントスーパーを含めたスーパーマーケットが 5 件と、大型ドラッグストアが 3 件、そのほか大型家電店や大型ホームセンターがあり、車で約 5～10 分以内の移動で日用品の買い物が可能です。近年は大型商業施設や飲食店が次々とオープンするなど、賑わいをみせています。

また、高校生までの医療費が無料（18 歳到達後最初の 3 月 31 日までの、入退院の診療費・薬代など健康保険が適用される自己負担が無料）です。町内には総合病院を含めた医療機関が多く、町外でも隣接する北九州市の大学病院まで町内各所から車で 15 分程度の移動距離であり、医療体制も充実しています。

水巻町を空から見ると、市街地の中に「水巻三山（多賀山 93 メートル、豊前坊山 75 メートル、明神ヶ辻山 95 メートル）」と呼ばれる山の緑が映えます。標高が低く、三山登頂もわずか 1 日。明神ヶ辻山の山頂には展望台もあり、自然豊かな遊歩道を朝の散歩代わりに登るといふ人もいるほどです。多賀山の中腹には小さな子が過ごすスペースのある大型図書館があり、県内の町村で屈指の蔵書数を誇っています。



観光名所としては、遠賀川のほとりにある八剣神社の境内に、推定樹齢 1900 年といわれる大イチョウがあり、根元から 4 本の幹に分岐した悠々とした姿で人々を見守ってきました。



町の特産品には「水巻のでかにんにく」があり、水巻の肥沃な土壌と生産者の愛情をたっぷり受けて普通のんにくの約5倍の大きさに育つでかにんにくは、気になる匂いは少なめにジューシーでまろやかな味わいで、味噌などの加工品も大人気です。



10月中旬から11月上旬にかけては、遠賀川河川敷のコスモス園に500万本のコスモスが咲き誇り、北から南まで約6キロに渡りピンク色のじゅうたんが敷きつめられます。

コスモスは昭和61年に「町の花」となって以来、コスモス園のみならず町のいたる所で楽しむことができます。コスモスが咲く時期に合わせて「みどりんぱあーく」で開催するコスモスマつりには、町内外から多くの人々が来場し賑わっています。「みどりんぱあーく」は、広大な芝生広場や、乳幼児専用など多彩な遊具もあるまちの人気スポットです。徒歩圏内には大型商業施設や特産品を集めた「ICOTTO!MIZUMAKI」など、グルメ、お土産などにも便利なお店もあります。

皆さんも「住みよき水巻」にぜひお越しください。